

## 1—1 国文学

### 研究・教育活動の概要と特色

国文学専攻分野では、文学を芸術の一種と捉えて、日本文学の様式・特質・展開を明らかにするとともに、その意義を世界文芸との関連において探究することを伝統的学風としてきた。同時に、作品の表現を丁寧に読み解くことを一貫して重んじ、偏りのない知識と読解力の習得を促しながら、学生ひとりひとりの関心を尊重して自己実現の手助けをするという教育方針の下、活発な研究・教育活動を進めてきている。卒業生は、約 1000 人に及び、国内外の学界・教育界・ジャーナリズム・出版界など、多方面で活躍している。現在も多くの大学院生・学部生・研究生が在籍する中、教員・学生を会員とする東北大学国文学会が組織され、毎年秋に研究発表大会を開催し、年度末には機関誌『日本文芸論叢』を発行するなど、旺盛な活動を継続している。また、本研究室には、国文学・国語学・日本思想史学の三つの専門分野の会員から成る学際的学会である日本文芸研究会の事務局が置かれ、活動の要としての役割を果たすとともに、この下部組織である上代・平安・中世・近世・近代の各小研究会は、本研究室の多くの学生が主体的に参加し運営しており、機関誌『文芸研究』（年 2 回発行）にも、本研究室の教員・学生が次々と論文を掲載している。さらに、本研究室には、助手・大学院生による自主的な研究団体として東北大学文芸談話会が組織され、毎年数回の研究発表会を開き、年刊の機関誌『日本文芸論稿』も発行している。

### 組織

#### 1 教員数（2011 年 9 月末現在）

教授：2

准教授：1

講師：0

助教：0

教授：佐藤伸宏、佐倉由泰

准教授：横溝 博

## 2 在学生数（2011年9月末現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
47	0	9	4	1

## 3 修了生・卒業生数（2007～2011年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
07	16	1	3
08	18	6	2
09	12	6	4
10	16	6	6
11	0	0	0
計	62	19	15

\* 2011年度は、9月末までの数字

## 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2007～2011年度）

### 1 博士学位授与

#### 1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件 数	論文博士授与件 数	計
07	0	1	1
08	2	2	4
09	1	4	5
10	6	2	8
11	1	0	1
計	10	9	19

\* 2011年度は、9月末までの数字

## 1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

渡辺善雄、2007年度、『鷗外 闘う啓蒙家』

審査委員：教授・仁平道明(主査)、教授・佐藤伸宏、教授・佐藤弘夫

高橋秀太郎、2008年度、『太宰治の研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・仁平道明、教授・佐藤弘夫、  
准教授・佐倉由泰

押野武志、2008年度、『日本近代文学の帰趨 夏目漱石・宮沢賢治・坂口  
安吾の系譜』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・仁平道明、教授・佐藤弘夫  
仁平政人、2008年度、『川端康成の研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・仁平道明、准教授・佐倉由泰、  
准教授・片岡龍

星山健、2009年度、『王朝物語史論 引用の『源氏物語』』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐藤弘夫、准教授・佐倉由泰、  
後藤幸良、2009年度、『平安朝物語の形成』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐藤弘夫、准教授・佐倉由泰、  
伊狩弘、2009年度、『島崎藤村小説研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐藤弘夫、准教授・佐倉由泰、  
佐倉由泰、2009年度、『軍記物語の機構』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐藤弘夫、教授・佐竹保子、  
王嘉臨、2009年度、『志賀直哉の研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐藤弘夫、准教授・佐倉由泰、  
三浦一朗、2010年度、『『雨月物語』論』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

野口哲也、2010年度、『泉鏡花研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

韓吉子、2010年度、『樋口一葉研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

寺澤浩樹、2010年度、『武者小路実篤の研究 美と宗教の様式』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

鈴木早苗、2010年度、『『源氏物語』の研究』

審査委員：教授・佐倉由泰(主査)、教授・佐藤伸宏、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

高橋由貴、2010年度、『大江健三郎研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

高橋宏宣、2010年度、『太宰治研究』

審査委員：教授・佐藤伸宏(主査)、教授・佐倉由泰、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

渡辺仁史、2010年度、『平安文芸史の記述に関する研究』

審査委員：教授・佐倉由泰(主査)、教授・佐藤伸宏、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

久保堅一、2011年度、『『源氏物語』の研究』

審査委員：教授・佐倉由泰(主査)、教授・佐藤伸宏、教授・佐藤弘夫、  
准教授・横溝博

## 2 大学院生等による論文発表

### 2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
07	5	4	1	0	10
08	4	4	0	0	8
09	4	8	2	0	14
10	5	12	2	0	19
11	1	2	2	0	5
計	19	30	7	0	56

\*2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

### 2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
07	0	6	17	0	23
08	0	8	13	0	21
09	0	5	10	0	15

10	0	4	3	1	8
11	0	4	2	0	4
計	0	27	45	1	73

\* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

## 2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

### (1) 論文

- 野口哲也 「泉鏡花における語りと変身」, 日本比較文学会『比較文学』第50巻, 2008年3月.
- 久保堅一 「浮舟の物語と伝説」, 日本文学協会『日本文学』第57巻第6号, 2008年6月.
- 久保堅一 「執着する薫 「わがもの」「おのがもの」に着目して」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第34号, 2011年1月.
- 久保堅一 「『今とりかへばや』宰相中将論 薫の執着の継承」, 東京大学国語国文学会『国語と国文学』第88巻4号, 2011年4月.
- 鈴木早苗 「『源氏物語』明石の姫君立后と『史記』「呂不韋列伝」」, 日本文芸研究会『文芸研究』第167集, 2009年3月.
- 鈴木早苗 「「未摘花」と「紅の涙」 未摘花巻における装束の贈答をめぐって」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第33号, 2009年10月.
- 鈴木早苗 「「枯れゆく」宇治の大君 『源氏物語』総角巻の求婚拒否と『白氏文集』「婦人苦」」, 全国国語国文学会『文学・語学』第196号, 2010年3月.
- 鈴木早苗 「『源氏物語』朝顔巻の藤壺 『竹取物語』のかぐや姫を視座として」, 中古文学会『中古文学』第85号, 2010年6月.
- 高橋由貴 「遺された言葉」, 岡部健・竹之内裕文編『どう生き どう死ぬか 現場から考える死生学』, 弓箴書院, 2009年5月.
- 高橋由貴 「テレビの前の「政治少年」 大江健三郎「セヴンティーン」 「政治少年死す」論」, 昭和文学会『昭和文学研究』第60集, 2010年3月.
- 高橋由貴 「大江健三郎のアルバイト小説 習作「火山」から「運搬」へ」, 東北大学国文学研究室『日本文芸論叢』第19号, 2010年3月.

- 高橋由貴 「火葬される「書記」の死 大江健三郎「飼育」における戦争」, 『国文学 解釈と鑑賞』第 75 巻 9 号, 2010 年 8 月 .
- 高橋由貴 「哀傷の言葉 宮澤賢治「無声慟哭」における喪失の語り方について」, 東北大学臨床死生学研究会『東北大学臨床死生学研究会研究報告』, 2010 年 10 月 .
- 高橋由貴 「記憶の選択、記憶の構築 映画「ワンダフルライフ」を考える」, 東北大学臨床死生学研究会『東北大学臨床死生学研究会研究報告』, 2010 年 10 月 .
- 高橋由貴 「「不意の唾」における「通訳」の言葉 大江健三郎と遅れてきた戦争(上)」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第 34 号, 2011 年 1 月 .
- 高橋由貴 「「人間の羊」における沈黙を囲む饒舌 大江健三郎と遅れてきた戦争(下)」, 東北大学国文学研究室『日本文芸論叢』第 20 号, 2011 年 3 月 .
- 高橋由貴 「大江健三郎における深瀬基寛訳『オーデン詩集』の受容 「政治と性」の淵源としてのオーデン」, 日本比較文学会『比較文学』第 53 巻, 2011 年 3 月 .
- 寺窪健志 「『萬葉集』の「怨」と「恨」「うらむ」と「うらめし」」, 解釈学会『解釈』第 53 巻第 3・4 号, 2007 年 4 月 .
- 寺窪健志 「家持の「恨歌二首」 越中の風土と霍公鳥」, 『高岡市万葉歴史館紀要』第 19 集, 2009 年 3 月 .
- 仁平政人 「『首都圏』 かすむ都市・ゆらめく意識」, 与那覇恵子編『現代女性作家読本 中沢けい』, 鼎書房, 2007 年 4 月 .
- 仁平政人 「「反橋」連作論 川端康成の 戦後 へ」, 川端文学研究会編『川端文学への視界』第 22 号, 2007 年 6 月 .
- 仁平政人 「方法としての 心理 川端康成における新心理主義をめぐって」, 日本比較文学会『比較文学』第 50 巻, 2008 年 3 月 .
- 仁平政人 「他者としての「過去」 戦後の川端康成における 記憶 - 忘却 の方法」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第 32 号, 2008 年 10 月 .
- 仁平政人 「無言のまほりを廻る 川端康成「無言」論」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第 33 号, 2009 年 10 月 .

- 仁平政人 「川端康成「散りぬるを」論 「合作」としての「小説」」 ,  
東北大学国文学研究室『日本文芸論叢』第19号,2010年3月.
- 仁平政人 「川端康成「青い海黒い海」論 言葉の速度と遅れ」 ,  
日本文芸研究会『文芸研究』第170集,2010年9月.
- 仁平政人 「『猫道楽』 隠語の詩学、あるいは 猫 を飼わないと言う  
作法」 , 『現代女性作家読本 長野まゆみ』,鼎書房,2010年10月.
- 仁平政人 「「漫想」する言葉 尾崎翠における「映画」の翻訳」 , 東  
北大学国文学研究室『日本文芸論叢』第20号,2011年3月.
- 仁平政人 「『マリカの永い夜/バリ夢日記』 テクストの旅・夜 の  
輝き」 , 『現代女性作家読本 よしもとばなな』,鼎書房,2011年  
7月.
- 王 嘉臨 「志賀直哉「剃刀」論 「自己」を視座として」 , 東北大学文  
学会『文化』第72巻第1・2号,2008年9月.
- 王 嘉臨 「志賀直哉『大津順吉』論 「自己語り」の叙述形式をめぐって  
」 , 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第33号,2009年10月.
- 飯田真弓 「「天皇」への恋歌 『萬葉集』巻第四・七二五・七二六番歌  
考」 , 日本文芸研究会『文芸研究』第164集,2007年9月.
- 江 明瑾 「再現 のフィクション 『右大臣実朝』論」 , 東北大学文  
芸談話会『日本文芸論稿』第32号,2008年10月.
- 韓 吉子 「樋口一葉「やみ夜」論 お蘭の「女夜叉の本性」に着目して」 ,  
東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第32号,2008年10月.
- 韓 吉子 「樋口一葉「われから」論 「鬱ぎ」込む妻たち」 , 東北大学  
文学会『文化』第74巻第1・2号,2010年9月.
- 河内聡子 「産業組合メディアにおける学校の利用」 , リテラシー史研究  
会『リテラシー史研究』第2号,2009年1月.
- 河内聡子 「雑誌『家の光』の普及過程に見るメディアの地域展開」 , 日  
本文学協会『日本文学』第58巻第4号,2009年4月.
- 河内聡子 「産業組合の拡充期における思想的潮流とその転換」 , 信州大  
学人文学部大学院委員会『人文科学研究』第7号,2009年12月.
- 河内聡子 「昭和前期農村におけるメディア・イベント 産業組合メディ  
アの公共性」 , リテラシー史研究会『リテラシー史研究』第3号,  
2010年1月.

- 河内聡子 「『家の光』の誌面改良 梅山一郎の編集態度を中心に」, リテラシー史研究会『リテラシー史研究』第4号, 2011年1月.
- 河内聡子 「昭和前期の農村地域における 共同体 の編成とその機能」, 社会システム研究会『社会システム研究』第22号, 2011年3月.
- 河内聡子 「『家の光』の普及に関する一考察 産青連と反産業組合運動」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第34号, 2011年1月.
- 河内聡子 「制度とメディア 『家の光』創刊の経緯に見る」, 東北大学国文学研究室『日本文芸論叢』第20号, 2011年3月.
- 河内聡子 「国定教科書取次販売所における取引の現場を辿る 長野県一書肆の事例を追って」, 和田敦彦編『国定教科書はいかに売られたか 近代出版流通の形成』, ひつじ書房, 2011年3月.
- 岸本洋輔 「鎌倉本『保元物語』論 類 を指向する歴史叙述」, 東北大学文学会『文化』第75巻第1・2号, 2011年9月.
- 大木葉子 「雑誌『乳樹(チチノキ)』とモダニズム 児童文学史上におけるその可能性 (上)」, 日本文芸研究会『文芸研究』第169集, 2010年3月.
- 大木葉子 「雑誌『乳樹(チチノキ)』とモダニズム 児童文学史上におけるその可能性 (下)」, 日本文芸研究会『文芸研究』第170集, 2010年9月.
- 大木葉子 「鈴木三重吉「赤い鳥」の標榜語」, 加藤理編『児童文化の原像と芸術教育』, 港の人, 2011年7月.
- 黒澤佑司 「郷愁の射程 嵯峨の屋おむろ「初恋」論」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第34号, 2011年1月.
- 木戸浦豊和 「夏目漱石『文学論』の修辞学 Associationism (連合主義) を視座として」, 東北大学文芸談話会『日本文芸論稿』第34号, 2011年1月.

## (2) 口頭発表

- 高橋秀太郎 「太宰治とチェーホフ」, 日本比較文学会第69回全国大会ワークショップ「チェーホフの短編小説はどう読まれてきたか」, 北海道大学, 2007年6月16日.
- 野口哲也 「泉鏡花における変身への視線 アプレイウス「黄金のろば」



- との対比から 」,日本比較文学会第 69 回全国大会,北海道大学,2007 年 6 月 16 日 .
- 久保堅一 「蜻蛉巻の薫」,古代文学研究会 2010 年度大会,伊勢かぐらばリゾート 千の杜,2010 年 8 月 10 日 .
- 鈴木早苗 「『源氏物語』総角巻と『白氏文集』「婦人苦」 大君の死の叙述をめぐって 」,全国国語国文学会冬季大会研究発表会,関西学院大学,2008 年 12 月 7 日 .
- 鈴木早苗 「御法巻の紫の上 葬送場面の情景描写に注目して 」,日本文芸研究会第 63 回研究発表大会,東北大学,2011 年 6 月 12 日 .
- 高橋由貴 「大江健三郎『個人的な体験』論 締め出される 子 をめぐって 」,日本文芸研究会第 59 回研究発表大会,東北大学,2007 年 6 月 10 日 .
- 高橋由貴 「「見るまえに跳べ」から「狩猟で暮したわれらの先祖」へ 大江健三郎における深瀬基寛『オーデン詩集』の受容 」,日本比較文学会 2009 年度東北大会,弘前大学,2009 年 11 月 28 日 .
- 高橋由貴 「大江健三郎と原民喜 「夏の花」の評価をめぐって 」,第 24 回原爆文学研究会研究発表会,立教大学,2011 年 5 月 7 日 .
- 高橋由貴 「オーデンの詩を「核(コア)」とする小説 大江健三郎「狩猟で暮したわれらの先祖」論 」,日本文芸研究会・日本思想史研究会共催研究発表会,東北大学,2011 年 9 月 10 日 .
- 仁平政人 「方法としての 心理 川端康成における「新心理主義」をめぐって 」,日本比較文学会第 69 回全国大会,北海道大学,2007 年 6 月 16 日 .
- 仁平政人 「川端康成『山の音』の方法」,2008 年度 日本近代文学会秋季大会,東北大学,2008 年 10 月 25 日 .
- 仁平政人 「モダニズムと 翻訳 のエクルチュール 横光利一/生田長江の交差をめぐって 」,日本比較文学会東北支部第 7 回比較文学研究会,仙台市青年文化センター,2009 年 8 月 8 日 .
- 仁平政人 「「翻訳」の文芸学 尾崎翠テクストの分析を起点に 」,日本文芸研究会第 62 回研究発表大会,福島大学,2010 年 6 月 19 日 .
- 仁平政人 「「チエホフ」という地下室 尾崎翠「地下室アントンの一夜」をめぐって 」,日本比較文学会東北支部第 9 回比較文学研究会,東

- 北大学，2011年7月30日。
- 飯田真弓 「『萬葉集』「大伴坂上郎女月歌三首」考 「待つ」の諸相 」，  
日本文芸研究会第60回研究発表大会，東北大学，2008年6月15日。
- 飯田真弓 「『萬葉集』卷六・一〇一七番歌 大伴坂上郎女歌論 「廬」「野  
辺」に着目して 」，第32回萬葉語学文学研究会，奈良女子大学，2010  
年9月25日。
- 王 嘉臨 「志賀直哉「大津順吉」論」，日本文芸研究会第60回研究発表  
大会，東北大学，2008年6月15日。
- 江 明瑾 「 歴史 と 文学 との交渉 太宰治「鉄面皮」論」，日本近  
代文学会東北支部，仙台市片平市民センター，2008年6月21日。
- 韓 吉子 「樋口一葉「うつせみ」論 未定稿「うつせみ」を起点として 」，  
日本文芸研究会第61回研究発表大会，東北大学，2009年6月14日。
- 韓 吉子 「樋口一葉「うつせみ」論 未定稿を起点として 」，韓国日本  
学会2009傘下学会聯合学術大会，漢陽女子大学，2009年9月19日。
- 大木葉子 「「既成の概念」への疑い 新美南吉「手袋を買ひに」論」，  
日本児童文学会第46回研究大会，仙台市戦災復興記念館，2007年10  
月20日。
- 岸本洋輔 「金刀比羅本『保元物語』論 その 達成 をめぐって 」，  
日本文芸研究会 平成19年度第1回研究発表会，一関工業高等専門学  
校，2007年9月22日。
- 岸本洋輔 「軍記物語の諦念表現 三類本『保元物語』を中心に 」，日  
本文芸研究会 第61回研究発表大会，東北大学，2009年6月14日。
- 岸本洋輔 「『保元物語』の新たな組みなおし」，軍記・語り物研究会例  
会，法政大学，2009年11月15日。
- 岸本洋輔 「流布本『承久記』における身体・生命・倫理 小さな物語  
の連続に着目して 」，軍記・語り物研究会2011年度大会，かながわ  
女性センター，2011年9月1日。
- 河内聡子 「雑誌『家の光』の普及過程に見る地域メディアの展開」，出  
版と社会変容研究会，一橋大学，2008年10月4日。
- 河内聡子 「昭和前期農村における活字メディアの展開と受容 産業組合  
の出版活動を中心に 」，出版学会，日本エディター・スクール，2009  
年2月27日。

河内聡子 「雑誌『家の光』における 農村 の射程 誌面改良の動きを巡って 」,日本文芸研究会平成 22 年度第 2 回研究発表会,東北大学,2010 年 12 月 11 日.

渡部 南 「『大鏡』『大臣列伝』の叙述の機構 評語「うるはし」に着目して 」,日本文芸研究会 平成 20 年度第 1 回研究発表会,福島大学,2008 年 9 月 20 日.

黒澤佑司 「「自伝」という方法 嵯峨の屋おむろ『無味気』をめぐって 」,日本文芸研究会第 62 回研究発表大会,福島大学,2010 年 6 月 20 日.

黒澤佑司 「テキストと批評をめぐる動態 嵯峨の屋おむろ「くされたまご」を中心として 」,東北大学国文学会平成 22 年度研究発表大会,東北大学,2010 年 11 月 13 日.

木戸浦豊和「夏目漱石『文学論』と心理学 Associationism ( 連合主義 ) の問題を中心に」,日本比較文学会 2010 年度東北大会,岩手大学,2010 年 12 月 4 日.

木戸浦豊和「文学的内容の形式「(F+f)とは何か? 夏目漱石『文学論』の冒頭をめぐって」,日本文芸研究会第 63 回研究発表大会,東北大学,2011 年 6 月 12 日.

小野貴裕 「薫の道心 宿木巻を起点にして 」,東北大学国文学会平成 22 年度研究発表大会,東北大学,2010 年 11 月 13 日.

### 3 大学院生・学部生等の受賞状況

関澤美育 東北大学研究教育振興財団「海外留学奨励賞」,2009 年 7 月 22 日.

### 4 日本学術振興会研究員採択状況

2011 年度, DC2, 採用, 1 名

### 5 留学・留学生受け入れ

#### 5- 1 大学院生・学部学生等の留学数

学部 3 年, ストックホルム大学・スウェーデン.

## 5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
07	4	6	10
08	3	5	8
09	2	6	8
10	2	3	5
11	1	1	2
計	12	21	33

## 6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
07	2	0	2
08	5	1	6
09	5	1	6
10	3	1	4
11	2	0	2
計	17	3	20

## 7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

### 7-1 専攻分野出身の研究者

三浦一朗 東北大学 助教 2007年度  
高橋秀太郎 東北工業大学 専任講師 2008年度  
野口哲也 鳴門教育大学 専任講師 2008年度  
王嘉臨 台湾淡江大学 専任講師 2010年度  
三浦一朗 弘前学院大学 准教授 2011年度  
久保堅一 仙台高等専門学校 専任講師 2011年度  
仁平政人 弘前大学 専任講師 2011年度  
高橋早苗 東北大学 助教 2011年度

### 7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員 23名  
出版社 2名

## 8 客員研究員等の受け入れ状況

## 客員研究員

大韓民国 漢陽女子大学 李 英敬 教授 2006年9月1日～2007年7月31日 日韓の旅の文化についての対比的研究（日韓文化交流基金による研究）〔受入教員 佐倉由泰准教授〕

台湾 輔仁大学 黄 翠娥 助教授 2008年7月15日～9月10日 日本近現代文学における中国的素材の受容に関する研究〔受入教員 佐藤伸宏教授〕

台湾 淡江大学 顧 錦芬 講師 2010年7月4日～8月5日 宮澤賢治童話の研究〔受入教員 佐藤伸宏教授〕

## 東北大学大学院文学研究科リサーチフェロー

北海道大学大学院 押野武志 准教授 2007年4月1日～2007年9月30日 日本近代文学の研究〔受入教員 佐藤伸宏教授〕

大韓民国 漢陽女子大学 李 英敬 教授 2008年8月17日～2007年8月24日 中世紀行文芸の研究〔受入教員 佐倉由泰准教授〕

台湾 慈濟大学 高 惠玲 講師 2010年7月8日～2010年8月5日 志賀直哉の研究〔受入教員 佐藤伸宏教授〕

大韓民国 漢陽女子大学 李 英敬 教授 2010年7月20日～2010年8月7日 中世紀行文芸の研究〔受入教員 佐倉由泰教授〕

## 9 外国人研究者の受け入れ状況

上記の客員研究員等のほかは なし。

## 10 刊行物

『日本文芸論叢』（東北大学国文学会・1982年3月より年刊を原則として刊行）

『日本文芸論稿』（東北大学文芸談話会・1867年7月より年刊を原則として刊行）

## 11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2007年度

日本文芸研究会事務局

日本文芸研究会第 59 回総会・研究発表大会 開催事務局 (6月9・10日)

2008 年度

日本文芸研究会事務局

日本文芸研究会第 60 回総会・研究発表大会 開催事務局 (6月14・15日)

第 27 回 和漢比較文学学会大会 開催 (9月27・28日)

2008 年度 日本近代文学学会秋季大会 開催 (10月25・26日)

2009 年度

日本文芸研究会事務局

日本文芸研究会第 61 回総会・研究発表大会 開催事務局 (6月9・10日)

2010 年度

日本文芸研究会事務局

日本文芸研究会平成 22 年度第 1 回研究発表会 開催事務局 (9月11日)

2011 年度

日本文芸研究会事務局

日本文芸研究会第 63 回総会・研究発表大会 開催事務局 (6月11・12日)

## 1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況

2007 年度

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 1 回研究発表会 2007 年 9 月 1 日

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 2 回研究発表会 2007 年 9 月 7 日

東北大学国文学会平成 19 年度研究発表大会 2007 年 11 月 10 日

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 3 回研究発表会 2008 年 2 月 16 日

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 4 回研究発表会 2008 年 3 月 8 日

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 5 回研究発表会 2008 年 3 月 24 日

東北大学文芸談話会平成 19 年度第 6 回研究発表会 2008 年 3 月 26 日

2008 年度

東北大学文芸談話会平成 20 年度第 1 回研究発表会 2008 年 9 月 23 日

東北大学国文学会平成 20 年度研究発表大会 2008 年 11 月 15 日  
東北大学文芸談話会平成 20 年度第 2 回研究発表会 2009 年 3 月 14 日  
東北大学文芸談話会平成 20 年度第 3 回研究発表会 2009 年 3 月 17 日  
東北大学文芸談話会平成 20 年度第 4 回研究発表会 2009 年 3 月 24 日

#### 2009 年度

東北大学文芸談話会平成 21 年度第 1 回研究発表会 2009 年 4 月 11 日  
東北大学国文学会平成 21 年度研究発表大会 2009 年 11 月 7 日  
東北大学文芸談話会平成 21 年度第 2 回研究発表会 2010 年 3 月 14 日  
東北大学文芸談話会平成 21 年度第 3 回研究発表会 2010 年 3 月 23 日  
東北大学文芸談話会平成 21 年度第 4 回研究発表会 2010 年 3 月 30 日

#### 2010 年度

東北大学国文学会平成 22 年度研究発表大会 2010 年 11 月 13 日  
東北大学文芸談話会平成 22 年度第 1 回研究発表会 2011 年 1 月 25 日  
東北大学文芸談話会平成 22 年度第 2 回研究発表会 2011 年 3 月 1 日

#### 2011 年度

東北大学国文学会平成 23 年度研究発表大会 2011 年 11 月 12 日  
東北大学文芸談話会平成 23 年度第 1 回研究発表会 2011 年 9 月 6 日

### 1.3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

国文学専攻分野では、作品の表現を丁寧に読み解くことを一貫して重んじ、偏りのない知識と読解力の習得を促しながら、学生ひとりひとりの関心を尊重して自己実現の手助けをすることを目標にして、毎年、多くの学生の教育に当たってきたが、過去 5 年間においても、十分な実績・成果を挙げてきたと評価できる。全国的に就職状況が未だよいとは言えない状況にあっても、多くの前途有為な卒業生・修了生が希望の進路で活躍することがかなうような教育活動が実現できたと思う。多くの学生が本専攻分野で学ぶことを希望するが、そうした学生の意欲や関心に十分応えられる教育がなされていると考えていいたい。毎年、70 名を超える学生が在籍し、2007 年度～2009 年度の 4 年間に、62 名（平均 15～16 名）が学部を卒業し、19 名（平均 5 名）が博士課程前期を修了し、博士課程後期の学生についても、ここ 5 年間で 15 名が修了もしくは満期退学した。中でも、ここ 5 年の間に、県立高校の教員を中心に、中学校・高等学校の教員として、20 名の卒業生・修了生・博士課程後期退学者が採用されて

いること（常勤講師・非常勤講師を加えればその数はさらに増える）は、教員になることが難関となっている昨今の状況を考え合わせるに、特筆すべき実績と言えよう。留学生に対しても、毎年10名前後の学生の教育に当たって、多大な成果を挙げており、国際社会への貢献度も少なくない。また、本専攻分野は、高度職業人の養成という社会的要請にも十分に応えており、現在、博士前期課程2名の社会人学生が在籍し、充実した修学・研究を重ねている。

本専攻分野の組織としての研究活動も十分評価できるものと考えている。確かに、全国的な厳しい状況を反映して、大学・短期大学・工業高等専門学校等の常勤の職に就くのがきわめて難しい現状にあるが、そうした中でも、今年になって、改善の兆しが見え始めている。しかも、研究活動自体は一向に衰えることはなく、きわめて活発に進められている。特に、大学院の学生の論文発表の充実ぶりは顕著で、その全体の数はもとより、審査制学術誌に掲載されるケースも増加する傾向にある。大学院の学生の研究発表も質・量ともに年々その充実度を増している。日々の教育・研究の場において、テキストと正面から向き合い、細部をたいせつにして表現を丹念に読み解くことを一貫して重んじてきたことがこうした旺盛な研究活動を支えているものと理解される。

また、本専攻分野は、刊行物の刊行や研究会の開催等を活発に行うことはもとより、学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催にも進んでかわり、客員研究員・外国人研究者の受け入れにも積極的に対応しており、国内外の学術交流ネットワークの重要な要としての役割を担っている。そして、何よりも、博士学位の審査にも厳正に当たり、すぐれた実績・成果を示した研究者に正当に学位が授与されるよう真摯に努力を重ねている。

以上のように、国文学専攻分野の研究・教育活動は高く評価できるが、2006年度に実施された外部評価（評価者：今西祐一郎 九州大学大学院人文科学研究院教授）も、その客観的な裏付け・根拠となる。当該外部評価においては、作品を正確に、「文芸」として味読・読解するという文学研究の基本が、研究・教育の場で着実に実践され、それが伝統として脈々と受け継がれていることをはじめ、本分野の教員・学生の研究に対し、先見性・独創性、実証性・堅実性、継続性・持続性、体系性、学界・社会への影響・貢献、学会活動への貢献のいずれについても、たいへん高い評価がなされている。

ただし、教育・研究には、これでよいと安心できるような到達点はない。学生が、進路のこと、修学のことなどで、とまどい悩むことも少なくない。よりよ



い教育・研究環境の創出とさらなる成果の充実を期して不断に工夫をこらし、努力を重ねる必要がある。教員全員が、学生ひとりひとりのよりよい自己実現のためにたゆまず努めることを強く心に念じている。

## 教員の研究活動（2007～2011年度）

### 1 教員による論文発表等

#### 1-1 論文

仁平道明 「男の枕草子、女の枕草子 「生意気女」が笑うとき」, 『国文学』第52巻6号(特集「枕草子の人生設計」), 学燈社, pp.82-91, 2007年6月.

仁平道明 「「一塊の土」試読 「情ない」「一家」への嘆き」, 『国文学解釈と鑑賞』第72巻9号(特集「芥川龍之介再発見」), 至文堂, pp.146-153, 2007年9月.

仁平道明 「『夜の寝覚』末尾欠巻部再構成の試み 架蔵切・『古筆学大成』切・周辺資料から」, 永井和子編『源氏物語へ 源氏物語から 中古文研究24の証言』, 笠間書院, pp.434-461, 2007年9月.

仁平道明 「挽歌の恋歌 鎮魂儀礼・鎮魂表現としての恋」, 『国文学』第52巻12号(特集「万葉の恋歌」), 学燈社, pp.50-58, 2007年11月.

仁平道明 「やさしい偷盗たち 芥川龍之介における救済とゆるし」, 『國文學』第53巻3号(特集「やさしいかなしい芥川龍之介」), 学燈社, pp.45-55, 2008年2月.

仁平道明 「宮廷文学としての和歌 『古今和歌集』序と「楽」」, 仁平道明編『王朝文学と東アジアの宮廷文学』, 竹林舎, pp.372-405, 2008年5月.

仁平道明 「ロンドンの漱石、帰ってきた漱石 「渡航日記」・クレイグ・オックスフォード」, 『国文学』第53巻9号臨時号(特集「漱石 ロンドン、中国などで何が起こったか」), 学燈社, pp.38-45, 2008年6月.

仁平道明・河合隆司 「漱石の「貸した本」(翻刻と解説)」, 『国文学』第53巻9号臨時号(特集「漱石 ロンドン、中国などで何が起こったか」), 学燈社, pp.161-167, 2008年6月.

- 佐藤伸宏 「室生犀星『抒情小曲集』の位置」, 『詩界』第 250 号, 日本詩人クラブ, pp.114-124, 2007 年 3 月 .
- 佐藤伸宏 「『白き手の獵人』の世界 「恋の囀り」を読む」, 『再説 三木露風』, 三鷹市芸術文化振興財団, pp.8-14, 2007 年 11 月 .
- 佐藤伸宏 「詩のことばの魅力」, 『ことばの世界とその魅力』, 東北大学出版会, pp.91-116, 2008 年 4 月 .
- 佐藤伸宏 「口語詩 成立の位相」, 『近代文学 資料と試論』第 8 号, 「近代文学資料と試論」の会, pp. 1 -11, 2008 年 7 月 .
- 佐藤伸宏 「1930 年代フランスに於ける二冊の日本詩翻訳アンソロジー」, 『越境する言の葉』, 日本比較文学会, 彩流社, pp.249-259, 2011 年 6 月 .
- 佐藤伸宏 「翻訳された「サーカス」 オノマトペの翻訳(不)可能性をめぐって」, 『中原中也研究』第 16 号, 中原中也の会, pp.123-133, 2011 年 9 月 .
- 佐倉由泰 「『大塔物語』試論」, 『中世文学』第 52 号, 中世文学会, pp.94 -103, 2007 年 6 月 .
- 佐倉由泰 「初期軍記 の記述を支えるもの 『将門記』の用語に着目して」, 『軍記と語り物』第 44 号, 軍記・語り物研究会, pp.31-44, 2008 年 3 月 .
- 佐倉由泰 「中世軍記物語の表現の古態とは 半井本『保元物語』の累加的記述に着目して」, 『国語と国文学』第 85 巻第 11 号, 東京大学国語国文学会, pp.12-24, 2008 年 11 月 .
- 佐倉由泰 「奥羽の豊かさを語るということ 陸奥五十四郡言説を起点として」, 『説話文学研究』第 44 号, 説話文学会, pp.120-129, 2009 年 7 月 .
- 佐倉由泰 「「友」なき戦場 『平家物語』の合戦記述」, 『武蔵野文学』第 58 集, 武蔵野書院, pp.8-14, 2010 年 12 月 .
- 佐倉由泰 「『太平記』と「気」」(佐伯真一編『中世文学と隣接諸学 4 中世の軍記物語と歴史叙述』, 竹林舎, pp.211-237, 2011 年 4 月 .
- 佐倉由泰 「『平家物語』における祝祭的表象」, 鈴木則郎編『平家物語 伝統 の受容と再創造』, おうふう, pp.65-104, 2011 年 5 月 .
- 佐倉由泰 「軍記物語の表現の古態を考えるということ」, 千明守編『平家

- 物語の多角的研究』，ひつじ書房，2011年6月．
- 佐倉由泰「リテラシーの動態を捉える文学史は可能か」（『文学・語学』第200号，pp.54-69，2011年7月．
- 横溝 博 「『更級日記』「時ならず」歌をめぐる試論 作者の継母恋いと  
の関わりから」，『古代中世文学論考』第19集，新典社，pp.194-210，  
2007年5月．
- 横溝 博 「『山路の露』のアレゴリー 『二河白道図』からの発想」，  
『中世王朝物語の新研究』，新典社，pp.308-344，2007年10月．
- 横溝 博 「『肖柏問答抄』の成立と古筆断簡」，『武蔵野文学』55，武蔵  
野書院，pp.17-21，2007年11月．
- 横溝 博 「中世王朝物語の通過儀礼」，『王朝文学と通過儀礼』，竹林舎，  
pp.337-365，2007年11月．
- 横溝 博 「『風葉和歌集』の内なる物語史 物語イメージの集成とし  
て」，『物語の生成と受容』，国文学研究資料館 文学形成系「平  
安文学における場面生成研究」プロジェクト，pp.143-183，2008年1月．
- 横溝 博 「『弄花抄』の注釈者たち 肖柏・実隆による後注をめぐる」，  
『平安文学の古注釈と受容』第二集，武蔵野書院，pp.143-160，2009年  
9月．
- 横溝 博 「「物語合」虚構論 十九番目の物語」，『平安後期物語の新  
研究』，新典社，pp.348-369，2009年10月．
- 三浦一朗 「「浅茅が宿」を読む やつれ果てた宮木の霊の姿から」，  
『日本文学』第57巻12号，日本文学協会，pp.62-65，2008年12月．
- 三浦一朗 「信義の行方 「菊花の約」論」，『文化』第73巻3・4号，  
東北大学文学会，pp.19-37，2010年3月
- 三浦一朗 「歴史との対話 「白峯」論」，『日本文芸論叢』第19号，  
東北大学国文学研究室，pp.1-12，2010年3月

## 1-2 著書・編著

- 仁平道明『王朝文学と東アジアの宮廷文学』（編著），竹林舎，581p，2008  
年5月．
- 佐藤伸宏『詩の在りか 口語自由詩をめぐる問い』，笠間書院，261p，2011  
年3月．

- 佐倉由泰『軍記物語の機構』，汲古書院，539p，2011年2月。
- 横溝 博『九曜文庫蔵 奈良絵本・絵巻集成 1 竹取物語絵巻』（中野幸一・横溝博編著）（共編），勉誠出版，133p，2007年7月。
- 横溝 博『平安文学の古注釈と受容 第一集』（陣野英則・横溝博編著）（共編），武蔵野書院，179p，2008年9月。
- 横溝 博『平安文学の古注釈と受容 第二集』（陣野英則・新美哲彦・横溝博編著）（共編），武蔵野書院，225p，2009年9月。

### 1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

#### (1) 書評

- 仁平道明 「書評岡野弘彦著『恋の王朝絵巻 伊勢物語』」，『産経新聞』，2008年5月18日。
- 佐藤伸宏 「今西幹一著『佐藤佐太郎短歌の研究』」，『日本文学』第57巻5号，日本文学協会，pp.86-88，2008年5月。
- 横溝 博 「鈴木泰恵著『狭衣物語 / 批評』」，『平安朝文学研究』復刊第16号，平安朝文学研究会，pp.55-59，2008年3月。
- 横溝 博 「田坂憲二著『源氏物語享受史論考』」，『日本文学』第59巻第3号，日本文学協会，pp.76-77，2010年3月。
- 横溝 博 「熊谷義隆著『源氏物語二つのゆかり 継承の主題と変化』」，『文藝研究』第170集，日本文芸研究会，pp.70-71，2010年9月。

#### (2) 解説

- 佐藤伸宏 「小説の中の絵画」，『文豪・夏目漱石』，朝日新聞社，pp.94-95，2007年9月。
- 佐藤伸宏 「口語自由詩の成立をめぐる諸問題」，『詩界通信』第37号，日本詩人クラブ，pp.1-2，2007年11月。
- 佐倉由泰 「東北文化公開シンポジウム 東北像再考：地域へのまなざし、地域からのまなざし その概要とこれからの展望」，『東北文化研究室紀要』第48集，pp.35-39，2007年3月。
- 佐倉由泰 「橘為仲と宮城野の萩」，『民話』第19号，山形短期大学民話研究センター，巻頭頁，2007年6月。
- 佐倉由泰 「文学からみた将門記」，川尻秋生編『将門記を読む』，吉川弘

- 文館，pp.26-51，2009年3月。
- 佐倉由泰「藤原清衡と文学」，三浦秀一編『人文社会科学講演シリーズ 東北人の自画像』，東北大学出版会，pp.41-85，2010年2月。
- 佐倉由泰「日本の文化を支えた真名の世界」，東北大学広報誌『まなびの杜』No.57（2011秋号），東北大学，表紙（表・裏），2011年9月。
- 横溝 博「肥前嶋原松平文庫蔵『源注』解題」，『平安文学の古注釈と受容』第一集，武蔵野書院，pp.55-68，2008年9月。
- 横溝 博「平成十九年国語国文学界の動向 中古散文 源氏物語一千年紀を前に」，『文学・語学』第194号，全国大学国語国文学会，pp.27-30，2009年7月。

### （3）辞典項目等

- 佐倉由泰「安藤右宗」「今井兼平」「越後中太家光」「落合兼行」「平忠盛」「平為員」「平将門」「平正盛」「巴」「中原兼遠」「中原基兼」「樋口兼光」「便女」「藤原秀衡」「源行家」「将門記」「陸奥話記」，『平家物語大事典』，東京書籍，pp.17，34-35，51，68，242-243，243，257，257-258，306-307，309，309-310，335-336，340-341，372-373，416-417，590，670-671，2010年11月。
- 横溝 博「別本～/異本～」，国文学研究資料館編『物語の生成と受容』，国文学研究資料館，pp.249-251，2008年1月。
- 横溝 博「肥前嶋原松平文庫蔵『源注』翻刻」，陣野英則・横溝博共編『平安文学の古注釈と受容』第一集，武蔵野書院，pp.69-106，2008年9月。
- 横溝 博「早蕨」「宿木」「東屋」「浮舟」「蜻蛉」「手習」「夢浮橋」翻刻，国文学研究資料館編『源氏物語歌寄せ』，国文学研究資料館，pp.185-197，2009年3月。
- 横溝 博「『源氏物語』人物別和歌一覧」（馬場淳子・横溝博共編），小嶋菜温子他編『源氏物語の和歌と表現』，翰林書房，pp.435-456，2009年5月。
- 横溝 博「後期物語の特質」，榎本隆司編『はじめて学ぶ日本文学史』，ミネルヴァ書房，pp.115，2010年5月。
- 横溝 博「説話の種々相」，榎本隆司編『はじめて学ぶ日本文学史』，ミネルヴァ書房，pp.129，2010年5月。

## 1-4 口頭発表

### (1) 国際学会・国際シンポジウム

仁平道明 「芥川文芸における 救済」, 単独, 招待講演, 2007年台湾大学日本研究国際学術検討会, 台湾大学日本語文学系, 台湾大学/台湾高雄市, 2007年11月3日.

仁平道明 「 「藪の中」とO・ヘンリの「運命の道」 再説」, 単独, 研究発表, 国際芥川龍之介学会, 国際芥川龍之介学会・興国管理学院応用日本語系, 興国管理学院/台湾台南市, 2008年8月28日.

仁平道明 「上代文芸における「老い」」, 単独, 招待研究発表, 輔仁大学日本語文学系国際シンポジウム「文化における老い」, 輔仁大学日本語文学系, 輔仁大学/台湾新莊市, 2008年11月1日.

仁平道明 「女性の文学としての『源氏物語』 男主人公へのまなざし」, 単独, 招待講演, 韓国日本語日文学会 2008年度冬期国際学術大会, 韓国日本語日文学会, 明知大学校/大韓民国ソウル市, 2008年12月20日.

佐倉由泰 「日本古典文学を読み、考えるということ」, 単独, 輔仁大学日本語文学科教学工作坊「台湾で日本古典文学を学ぶということ」講師(メインスピーカー), 輔仁大学/台湾新莊市, 2009年5月2日.

横溝 博 「『風葉和歌集』における物語イメージの表現」, 単独, EAJS(European Association for Japanese Studies)国際会議, EAJS, サレント大学/イタリアレッチェ, 2008年9月.

横溝 博 「牢屋奉行の源氏学 『窺原抄』の成立について」, 単独, EAJS(European Association for Japanese Studies)国際会議, EAJS, タリン大学/エストニアタリン, 2011年8月.

### (2) 国内学会

佐藤伸宏 「口語自由詩の成立をめぐる諸問題」, 単独, 招待講演, 日本詩人クラブ例会, 日本詩人クラブ, 東京大学/東京都, 2008年9月8日.

佐藤伸宏 「萩原朔太郎「竹」に関する生成論的アプローチ」, 単独, 日本フランス語フランス文学会東北支部大会「テキスト生成論シンポジウム」, 日本フランス語フランス文学会東北支部, 東北大学/仙台市, 2008年12月1日.

- 佐藤伸宏 「翻訳された日本の近代詩」, 単独, 招待講演, 日本比較文学会 2008 年度北海道大会, 日本比較文学会, 北海道大学 / 北海道, 2009 年 3 月 28 日 .
- 佐藤伸宏 「外国語に訳された宮澤賢治」, 単独, 日本比較文学会第 71 回 全国大会ワークショップ「外国に《愛》された日本文学」, 日本比較文学会, 大阪大学 / 大阪, 2009 年 6 月 20 日 .
- 佐藤伸宏 「オノマトペの翻訳(不)可能性 中原中也フランス語訳詩集 NAKAHARA Chuya, *Poèmes* をめぐって」, 単独, 比較文学研究会, 日本比較文学会東北支部, 仙台市青年文化センター / 仙台市, 2010 年 7 月 31 日 .
- 佐倉由泰 「初期軍記 の用語 軍記 以外の書との関連に着目して」, 単独, 軍記・語り物研究会第 374 回例会(2007 年夏・企画例会) 共同討議「「初期軍記」研究の検証と展開 新たな「状況」と「変容」を探る」, 軍記・語り物研究会, 法政大学 / 東京都, 2007 年 7 月 22 日 .
- 佐倉由泰 「奥羽の豊かさを語るということ 陸奥五十四郡言説を起点として」, 単独, 説話文学会・仏教文学会(支部) 九月合同例会 公開シンポジウム「日本 像の再検討 東北 を視座に」, 説話文学会・仏教文学会(支部), 弘前大学 / 弘前市, 2008 年 9 月 6 日 .
- 佐倉由泰 「歴史 を語らぬ歴史叙述 『平治物語』論」, 単独, 日本文芸研究会平成 20 年度第 2 回研究発表会, 日本文芸研究会, 東洋大学 / 東京都, 2008 年 11 月 29 日 .
- 佐倉由泰 「『太平記』と「気(機)」」, 単独, 軍記・語り物研究会 2010 年度大会, 軍記・語り物研究会, 大学コンソーシアムあきた カレッジプラザ / 秋田市, 2010 年 8 月 30 日 .
- 佐倉由泰 「蝦夷研究会 50 回記念公開シンポジウム 蝦夷から平泉藤原氏へ 蝦夷、安倍・清原・藤原氏」のコメントーター・パネリスト, 蝦夷研究会, 岩手大学 / 盛岡市, 2010 年 9 月 18 日 .
- 佐倉由泰 「武士の滅罪の表象を考える—奥州藤原氏と源氏の人々をめぐる表現を中心に—」, 第 62 回美学会大会 シンポジウム「「浄罪の場所」表象の東西—この世・あの世または第三の場所—」, 美学会, 東北大学 / 仙台市, 2011 年 10 月 16 日 .

横溝 博 「『風葉和歌集』の内なる物語史 物語イメージの集成として」, 平安文学における場面生成研究プロジェクト研究発表会, 平安文学における場面生成研究プロジェクト《物語の生成と受容》第7回研究会, 国文学研究資料館/東京都, 2007年8月24日.

横溝 博 「「物語合」虚構論 十九番目の物語」, 2007年度早稲田大学国文学会秋季大会, 早稲田大学国文学会, 早稲田大学/東京都, 2007年12月1日.

横溝 博 「按察家の人びと 『海人の刈藻』論を中心に」, 日本文芸研究会平成22年度第1回研究発表会, 日本文芸研究会, 東北大学/仙台市, 2010年9月11日.

## 2 教員の受賞歴(2007~2011年度)

なし

### 教員による競争的資金獲得(2007~2011年度)

#### (1) 科学研究費補助金

2008年度 課題番号:20520153 基盤研究(C)研究代表者:佐藤伸宏「脱ジャンル領域としての「小品」に関する動態的・文化史的総合研究」  
1,900,000円(1年間総額)

2008年度 課題番号:20720054 若手研究(B)研究代表者:三浦一朗「読本を視座とした近世中期歴史意識の研究」 910,000円(1年間総額)

2009年度 課題番号:20520153 基盤研究(C)研究代表者:佐藤伸宏「脱ジャンル領域としての「小品」に関する動態的・文化史的総合研究」  
900,000円(1年間総額)

2009年度 課題番号:21520176 基盤研究(C)研究代表者:佐倉由泰「古代から中世に至る真名表記テキストに関する表現と知の系脈についての研究」 1,040,000円(1年間総額)

2009年度 課題番号:20720054 若手研究(B)研究代表者:三浦一朗「読本を視座とした近世中期歴史意識の研究」 780,000円(1年間総額)

2010年度 課題番号:20520153 基盤研究(C)研究代表者:佐藤伸宏「脱ジャンル領域としての「小品」に関する動態的・文化史的総合研究」  
600,000円(1年間総額)



2010年度 課題番号：21520176 基盤研究(C) 研究代表者：佐倉由泰「古代から中世に至る真名表記テキストに関する表現と知の系脈についての研究」 650,000円(1年間総額)

2010年度 課題番号；225042 研究成果公開促進費 学術図書 代表者：佐倉由泰『軍記物語の機構』(出版社：汲古書院，2011年2月28日発行) 1,700,000円(総額)

2011年度 課題番号：21520176 基盤研究(C) 研究代表者：佐倉由泰「古代から中世に至る真名表記テキストに関する表現と知の系脈についての研究」 650,000円(1年間総額)

2011年度 課題番号：23720099 若手研究(B) 研究代表者：横溝博「『海人の刈藻』を中心とする院政期物語文学研究の開拓」 1,500,000円(1年間総額)

## (2) その他

なし

### 教員による社会貢献(2007～2011年度)

#### (1) 政府・地方公共団体の委員等

佐藤伸宏 教授

仙台文学館運営協議会委員 2004年4月から，現在に至る。

仙台文学館運営協議会会長 2008年4月から，現在に至る。

佐倉由泰 教授

国文学研究資料館国文学文献資料調査員 2003年4月～2007年3月、  
2008年4月～現在に至る。

横溝 博 准教授

国文学研究資料館国文学共同研究員 2005年4月～2010年3月

国文学研究資料館国文学文献資料調査員 2004年4月～2007年3月、  
2010年4月～現在に至る。

三浦一朗 助教

国文学研究資料館国文学文献資料調査員 2008年4月～現在に至る。

#### (2) 講座・講演等

佐藤伸宏 教授

- 日本詩人クラブ例会講演講師「口語自由詩の成立をめぐる諸問題」，  
東京大学，2007年9月8日．
- 宮城県詩人会総会講演講師「超越への夢想 日本近代詩の一断面」，  
仙台文学館，2007年11月11日．
- 仙台文学館文学講座講師「「永日小品」のなかの ロンドン」，仙  
台文学館，2008年3月28日．
- 東北大学文学部オープンキャンパス公開講座 講師，「詩が生まれると  
ころ」，東北大学，2010年7月28日．

佐倉由泰 教授

- 宮城県宮城野高等学校特別講座「学問の世界」 講師，「文学の世界」，  
宮城県宮城野高等学校，2007年5月26日．
- 東北大学文学部オープンキャンパス公開講座 講師，「古典文学と新た  
に会うために」，東北大学，2007年7月31日．
- 市民公開講座 東北大学文学サロン 講師，「宮城野の萩と古典文学」，  
東北大学，2007年11月23日．
- 第6期有備館講座「東北人の肖像」〔東北大学大学院文学研究科市民  
のための公開セミナー第6期〕講師，「藤原清衡と文学」，大崎市  
スコレハウス，2008年3月15日．
- 平成20年度 みやぎ県民大学 東北大学大学院文学研究科開放講座「県  
民のための文学サロン」講師，「『平治物語』と平治の乱 物語の  
虚構の謎を探る」，東北大学，2008年8月30日．
- 仙台文学館ゼミナール2008 講師，「『平家物語』を読む」，仙台文学  
館，2008年9月19日・10月3日・10月17日・10月31日・11月  
14日．
- 科学研究費補助金基盤研究(C)研究代表者：千明守「平家物語の初期形  
態に関する多角的研究 屋代本を拠点として」第四回共同研究会  
講師，「『平治物語』を考える 表現の古態なき「四部合戦状」と  
して」，國學院大學，2009年4月12日．
- 宮城県宮城野高等学校特別講座「学問の世界」 講師，「文学の世界」，  
宮城県宮城野高等学校，2009年5月23日．
- 仙台文学館ゼミナール2009 講師，「『平家物語』を読む」，仙台文学

館，2009年9月5日・9月19日・9月26日・10月24日・10月31日。

藤女子大学日本語・日本文学科特別公開講演会 講師，「『平家物語』の表現世界の機構を問う 源行家の表象に着目して」，藤女子大学，2010年9月10日。

仙台文学館ゼミナール2010 講師，「『平家物語』を読む」，仙台文学館，2010年9月14日・9月28日・10月12日・10月26日・11月9日。

東北大学市民オープンキャンパス紅葉の賀 公開講演会 講師，「古典文学に見る、萩の名所 宮城野の成り立ち」，東北大学，2010年11月3日。

仙南高校サマーカレッジ 講師，「日本の古典文学について考える 文学表現を発見的に読むために」，宮城県白石高等学校，2011年7月19日。

第4期齋理蔵の講座「男と女」講師，「文学表現における男と女 真名と仮名をめぐる」，宮城県丸森町丸森まちづくりセンター，2011年8月6日。

科学研究費補助金基盤研究(C)研究代表者：清水由美子「軍記文学における 中央 と 地方 に関する多角的研究」研究会 講師，「軍記物語と東海道 鎌倉という基点に着目して」，学士会館，2011年9月11日。

仙台文学館ゼミナール2011 講師，「『平家物語』を読む」，仙台文学館，2010年9月13日・9月27日・10月4日・10月18日・10月25日。

#### 横溝 博 准教授

宮城県仙台第二高等学校「一日大学」講師，「『源氏物語』とは何か？」，宮城県仙台第二高等学校，2010年12月2日。

第10期有備館講座「男と女」〔東北大学大学院文学研究科市民のための公開講座第10期〕講師，「平安文学の男と女」，大崎市岩出山公民館（スコレハウス），2011年7月16日。

東北大学文学部オープンキャンパス公開講義 講師，「貸す・借りる・写す—平安文学の伝わりかた」，東北大学川内北キャンパス，2011

年 7 月 28 日 .

### 教員による学会役員等の引き受け状況 (2007 ~ 2011 年度)

佐藤伸宏 教授

日本文芸研究会 委員 1985 年 6 月から , 現在に至る。

日本比較文学会 東北・北海道支部役員 1992 年 12 月から , 現在に至る。

日本文芸研究会 岡崎義恵学術研究奨励賞選考委員 2004 年 6 月 ~ 2010 年 6 月。

日本比較文学会 全国理事 2005 年 6 月から , 現在に至る。

日本比較文学会 学会賞選考委員会委員長 2011 年 6 月から , 現在に至る。

日本近代文学会 学会誌編集委員 2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月。

日本近代文学会 評議員 2008 年 4 月から , 現在に至る。

日本比較文学会 東北支部支部長 2008 年 10 月から , 現在に至る。

佐倉由泰 教授

日本文芸研究会 委員 2003 年 6 月から , 現在に至る。

日本文学協会 委員 2003 年 12 月 ~ 2007 年 11 月。

日本文学協会 委員 2008 年 12 月から , 現在に至る。

日本文芸研究会 岡崎義恵学術研究奨励賞選考委員 2010 年 6 月から , 現在に至る。

横溝 博 准教授

日本文芸研究会 委員 2010 年 6 月から , 現在に至る。

三浦一朗 助教

日本文芸研究会 委員 2006 年 6 月から , 現在に至る。

日本文学協会 委員 2009 年 4 月から , 現在に至る。

### 教員の教育活動

#### (1) 学内授業担当 (2011 年度)

##### 1 大学院授業担当

佐藤伸宏 教授

1 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法

- 2 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法
- 1 学期 日本文芸形成論研究演習 昭和前期文学の研究
- 2 学期 日本文芸形成論研究演習 昭和前期文学の研究
- 1 学期 日本文芸形成論研究演習 近代短歌の研究 茂吉と白秋
- 2 学期 日本文芸形成論研究演習 近代短歌の研究 茂吉と白秋

佐倉由泰 教授

- 1 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法
- 2 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法
- 1 学期 日本文芸形成論研究演習 『平家物語』の表現形成
- 2 学期 日本文芸形成論研究演習 『平家物語』の表現形成

横溝 博 准教授

- 1 学期 国文学特論 『源氏物語』の和歌と人物
- 2 学期 国文学特論 『源氏物語』の和歌と人物
- 1 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法
- 2 学期 国文学研究演習 日本文芸の考究とその論述の方法

## 2 学部授業担当

佐藤伸宏 教授

- 1 学期 国文学概論 日本近代文芸の諸問題
- 2 学期 国文学基礎講読 夏目漱石「永日小品」を読む
- 1 学期 国文学演習 昭和文学の研究
- 2 学期 国文学演習 昭和文学の研究

佐倉由泰 教授

- 2 学期 国文学概論 日本古典文芸の世界
- 1 学期 日本文芸形成論各論 十四世紀の文芸の研究
- 2 学期 日本文芸形成論各論 十四世紀の文芸の研究
- 1 学期 国文学演習 『平家物語』の研究
- 2 学期 国文学演習 『平家物語』の研究

〔1 回担当〕 1 学期 人文社会総論 人文社会科学の世界

横溝 博 准教授

- 1 学期 国文学基礎講読 『和泉式部日記』を読む
- 1 学期 国文学各論 『源氏物語』の研究

- 2 学期 国文学各論 『住吉物語』の研究  
1 学期 国文学演習 『源氏物語』の物語世界と人物  
2 学期 国文学演習 『源氏物語』の物語世界と人物

### 3 共通科目・全学科目授業担当

佐倉由泰 教授

〔1回担当〕 2 学期 『レポート力』アップのための情報探索入門

#### (2) 他大学への出講(2007～2011年度)

佐藤伸宏 教授

宮城学院女子大学学芸学部 2006年度～2011年度

都留文科大学 2011年度

佐倉由泰 教授

宮城教育大学 2005年度～2008年度・2010年度

台湾・輔仁大学大学院 2007年度・2009年度

宮城学院女子大学学芸学部 2008年度～2011年度

放送大学宮城学習センター 2010年度

藤女子大学 2010年度

三浦一郎 助教

宮城学院女子大学学芸学部 2006年度～2010年度

尚綱学院大学 2008年度～2010年度